

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月 6日更新

事務事業名	病児・病後児保育事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 三苫 幸喜
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 植田 恵
	施策の柱	57	子育てと仕事の両立支援		所属班	子ども保育班	(内線) 2314
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10579	根拠法令 合志市病児・病後児保育事業実施要綱	成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児の預かり保育を実施(合志市社協に事業委託) ※菊陽町委託については、平成21年度11月から南ヶ丘福祉センター輝き館が開設されたため、平成21年度からは委託していない。 ・病児・病後児保育事業での預かり乳幼児の突発的な症状に対する診察、処置及び預かり指導に対処するために嘱託医を委嘱している。 ・原則として合志市在住の生後2箇月から小学校3年生までの児童等であって、当面症状の急変は認められないが、病気の回復期には至っていない児童等又は病気の回復期にある児童等で、かつ、保護者が勤務等の都合により家庭での育児が困難な児童等を対象に受入れを実施している。 現在、合志市社協へ委託し、ふれあい館の「すこやか」と輝き館の「ひかり」の2箇所で開催している。それぞれの施設設備等の関係で受入れ定員が少ないため、風邪等の流行する時期によっては受入れできない場合もある。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払 ①毎日の病後児保育利用児童の健康管理指導助言 ②突発的な症状に対する診察、処置 ③職員、保護者への指導研修
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	流行時期になるとベッド数が足りなくなり、受入できない状況であるため、ベッド数の増加や力所数の増加の要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
生後2箇月から小学校3年生までの病気または病気回復期の児童等の預かりをすこやか及びひかりの2ヶ所で行った。 延べ人数 すこやか(ふれあい館内) 779人 ひかり(南ヶ丘福祉支援センター内) 238人 嘱託医の委嘱を行った。	・生後2箇月から小学校3年生までの病気または病気回復期の児童等の預かりを行う。 ・嘱託医の委嘱を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 病後児保育の実施施設数	箇所: 熊本市との広域連携開始に伴う負担金の増
イ: 病後児保育の登録者数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・生後2箇月から小学校3年生までの病気または病気回復期にある児童で、病児・病後児保育を利用した児童	ア: 小学校第3学年までの児童数 人
イ: 病後児保育の利用者数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・子育てと仕事の両立ができる。 ・利用児童の健康を適切に管理できる。	ア: 病後児保育の利用者数 人
イ: 病後児保育の利用者数	人
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。また、ベッド数が限られており、風邪等の流行によっても大きく左右されることから、前年度並みで設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 箇所		2	2	2	2	2	2	2	2	
	イ 人		2,791	1,959	2,300	2,246	2,300	2,300	2,300	2,300	
② 対象指標	ア 人		6,380	6,479	6,000	6,776	6,800	6,850	6,900	7,000	
	イ										
③ 成果指標	ア 人		936	846	800	1,017	1,000	1,000	1,000	1,000	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			5,705	5,704	5,705	5,705	5,705	5,705
		都道府県支出金	千円	11,200	11,200	5,705	5,644	5,705	5,705	5,705	5,705
		地方債	千円								
		その他	千円	1,581	1,397	1,440	1,620	1,440	1,440	1,440	1,440
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	4,726	5,843	5,705	5,599	5,808	5,705	5,705	5,705
		(A)のうち指定経費	千円	17,507	18,440	18,555	18,567	18,658	18,555	18,555	18,555
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	1	4	2	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	0	80	70	110	70	70	70	70
	(B) 人件費計	千円	0	318	278	408	278	278	278	278	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,507	18,758	18,833	18,975	18,936	18,833	18,833	18,833	

事務事業名	病児・病後児保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 利用には波があるものの、保育を必要とするニーズには、ほぼ受入れできており、安心して子育てや仕事ができる意図には大きく貢献できた。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 突発的な流行風邪の蔓延がない限りは、例年並みの受入れはできると判断する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 保育の定員枠があるため、利用申込が多い場合は利用できないことがある。ベッド数の増加や施設の増加ができなければ今のところ向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がないため他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 経費のほとんどが病児等の預かりのための人件費であるため、あらかじめ配置準備をする必要があり、年間を通じた安定した職員配置が必要であるため、国の示している基準内の最低経費である現在の経費から削減余地がない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小人員でやっており、削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 小学校や保育所等に通所している児童等で登録すれば誰でも利用できるため、適正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が子育て支援事業として推進している事業の一つであるため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

すこやか (定員6ベッド) 及びひかり (定員3ベッド) で実施した。感染力の高い疾病 (新型インフルエンザ等) に対応に向けて、施設改修などの機能強化を図ったことで、より安全安心な病児保育が実施できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						